



平成29年7月19日(水)

国土交通省関東地方整備局

道路部

記者発表資料

中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス

道の駅「にしかた」を拠点とした自動運転サービス

第1回地域実験協議会を開催します

技術的な検証を行うための実験箇所(「地域指定型」)として選定された道の駅「にしかた」を拠点とした自動運転サービス実証実験の実施に向け、第1回地域実験協議会を開催します。

国土交通省では、超高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、道の駅など地域の拠点を核とする自動運転サービスの導入を目指し、今年夏頃より、順次実証実験を開始する予定です。

今回、主に技術的な検証を速やかに実施するための道の駅(地域指定型)として選定された道の駅「にしかた」を拠点とした自動運転サービス実証実験の実施に向けて実験実施計画の検討や実験実施に係る関係機関との調整等を進めるため、「地域実験協議会」を設置し、その第1回会合を開催します。

1. 設置趣旨

道の駅「にしかた」を拠点とした自動運転サービス実証実験を円滑かつ効果的に実施するため、実験実施計画の検討、実験の実施及び実験結果の検証等を行うことを目的として、道の駅「にしかた」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会を設置する。

2. 日時

平成29年7月21日(金) 13:30~14:30(予定)

3. 場所

栃木市役所 3階 庁議室

4. 議事

- (1) 実証実験の概要及び実験車両の説明
- (2) 今後の実証実験の進め方 など

※会議は検討調整段階のため非公開とさせていただきますが、報道機関に限り、会議冒頭の栃木市長挨拶までカメラ撮り可能です。ただし、会場の都合により、一般の方の傍聴はできません。

※道の駅「にしかた」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会 HP

<http://www.ktr.mlit.go.jp/utunomiya/>

※本実験は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)のプロジェクトの1つとして実施するものです。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 道路部 道路計画第二課長 こんどう すずむ 近藤 進(内線4251)

課長補佐 おだ がわ ゆたか 小田川 豊(内線4252)

電話 048-600-1342 FAX 048-600-1385

**道の駅「にしかた」を拠点とした自動運転サービス
地域実験協議会 委員等名簿（案）**

委員	所属
日下部 貴彦	東京大学 空間情報科学研究センター 講師
益子 崇	栃木県 県土整備部 交通政策課 課長
竹中 弘幸	栃木県 県土整備部 道路保全課 課長
黒岩 伸年	栃木県 栃木土木事務所 県土整備部参事兼栃木土木事務所長
若菜 博	栃木市 生活環境部 部長
高崎 尚之	栃木市 産業振興部 部長
鈴木 進	栃木市 建設水道部 部長
池田 正	栃木県警察本部 交通部 交通企画課 総括参事官兼課長
佐藤 雅人	栃木県警察本部 交通部 交通規制課 課長
寺崎 耕	栃木県警察 栃木警察署 署長
大久保 正	道の駅にしかた 支配人
石川 等	西方地域自治会連合会 会長
山本 彰祐	株式会社ディー・エヌ・エー オートモーティブ事業部 シニアマネージャー
鈴木 通仁	国土交通省 関東地方整備局 道路部 道路企画官
上原 重賢	国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所 所長
中村 卓之	国土交通省 関東運輸局 自動車技術安全部技術課 課長
井坪 慎二	国土交通省 国土技術政策総合研究所 主任研究官

道の駅「にしかた」の概要

- 設置者：栃木市
- 所在地：栃木県栃木市西方町元369-1
- 路線名：一般国道293号
- 主な施設：農産物直売所、交流物産館、
農村レストラン
- 供用：平成21年11月
- 全体面積：約20,000m²

《全景写真》



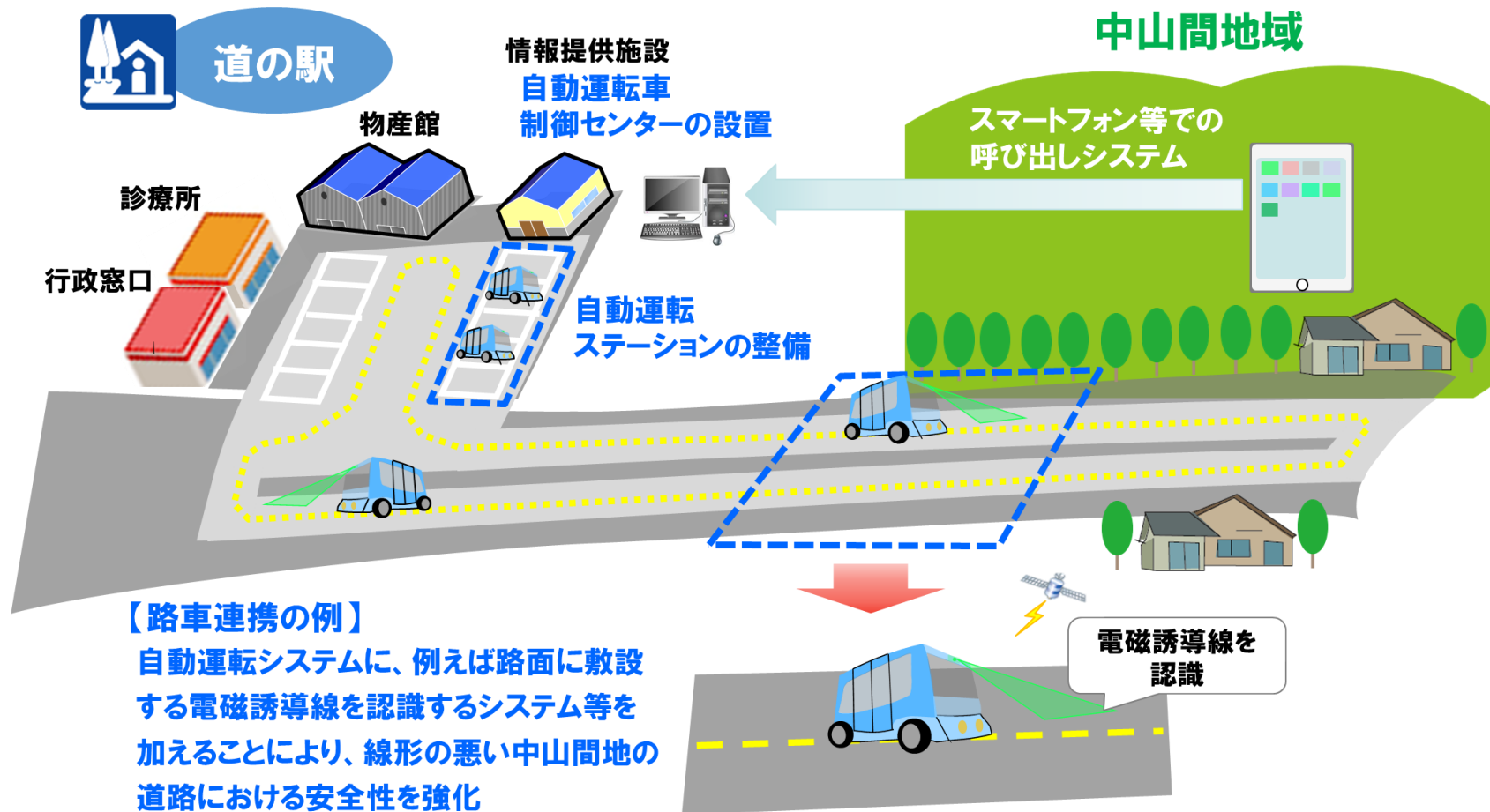
《位置図》



《平面図》



● 超高齢化等が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスを路車連携で社会実験・実装する。



【路車連携の例】

自動運転システムに、例えば路面に敷設する電磁誘導線を認識するシステム等を加えることにより、線形の悪い中山間地の道路における安全性を強化

物流の確保
(宅配便・農産物の集出荷等)

貨客混載

生活の足の確保
(買物・病院、公共サービス等)

地域の活性化
(観光・働く場の創造等)

今年夏頃から順次実験開始予定